

外来化学療法レジメン

- ・当院の外来化学療法室で実施している内服処方薬を含むレジメンの一覧です。
- ・保険薬局での処方チェックおよび服薬指導のご参考にしてください。
- ・掲載のスケジュールや薬品名は標準レジメンであり、患者様の状態によって変更になっている場合があります。

レジメンとは：抗悪性腫瘍薬、輸液、支持療法（制吐剤など）の投与に関する時系列的な治療計画

- ・患者毎のレジメンの内容は担当薬剤師がお薬手帳に貼付しています。

改定日 2025/3 がん化学療法チーム

●前立腺

- MAB療法 (CAB療法) LH-RH アゴニストまたは LH-RH アンタゴニスト±抗アンドロゲン剤 切除不能進行・再発 催吐リスク：－

一般名	商品名	投与量	投与経路	投与日	1 コースの期間	継続期間
リュープロレリン	リュープロレリン注	3.75 mg/日	皮下注	4 週毎	－	PD (増悪) まで
	リュープリン SR 注 射用キット	11.25 mg/回	皮下注	12 週毎		
	リュープリン PRO 注射用キット	22.5 mg/回	皮下注	24 週毎		
デガレリクス	ゴナックス皮下注用	初回 240 mg/回 2 回目以降 80 mg/回	皮下注	4 週毎	－	PD (増悪) まで
ゴセレリン	ゾラデックス LA10.8mg デポ	10.8 mg/回	皮下注	12～13 週毎		
ビカルタミド	ビカルタミド OD 錠	80 mg/日	経口	毎日		

【特に注意したい有害事象】 フレアアップ減少、ホットフラッシュ、性機能低下、女性化乳房、肝機能障害

【相互作用】 CYP3A4 によって代謝される薬剤・食品に注意、ワルファリンカリウム、トルブタミド、デキストロメトर्फアン

□ ホルモン療法（抗アンドロゲン薬：ステロイド性） / 切除不能進行・再発

催吐リスク：－

一般名	商品名	投与量	投与経路		1 コースの期間	継続期間
エチニルエストラジオール	プロセキソール錠	1～2mg/body	経口	1日3回 連日服用	－	PD まで
【特に注意したい有害事象】 女性化乳房、食欲不振、浮腫						
【相互作用】 副腎皮質ホルモン、三環系抗うつ剤、セレギリン塩酸塩、シクロスポリン、テオフィリン、オメプラゾール、リファンピシン、テトラサイクリン系抗生物質、ペニシリン系抗生物質、血糖降下剤、フルコナゾール、アセトアミノフェンなど 添付文書確認 CYP3A4 や CYP2C19 を阻害する薬剤や食品など						
【併用禁忌】 ヴィキラックス						

□ ホルモン療法（女性化ホルモン） / 切除不能進行・再発

催吐リスク：－

一般名	商品名	投与量	投与経路		1 コースの期間	継続期間
エストラムスチンリン酸 エステルナトリウム水和物	エストラサイ トカプセル	313.4mg/body	経口	1日2回 連日服用	－	PD まで
【特に注意したい有害事象】 女性化乳房、食欲不振、浮腫						
【相互作用】 ACE 阻害剤、牛乳・乳製品、カルシウム剤						

□ Doc+PSL 療法 / 切除不能進行・再発

催吐リスク：軽度

一般名	商品名	投与量	投与経路	投与日	1 コースの期間	継続期間
ドセタキセル	ドセタキセル注	70-75 mg/m ²	点滴静注	Day 1	3 週毎	PD まで
プレドニゾロン	プレドニゾロン錠	10 mg/日	経口	連日服用		
【特に注意したい有害事象】 骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、倦怠感、浮腫						
【相互作用】 CYP3A4 で代謝される アゾール系抗真菌剤						

★イクスタンジのプロトコールがない、、、